

東京都土地改良だより

第159号

水土里ネット東京

東京の田んぼと水の風景



田植えを待つ水田（あきる野市）



収穫の秋（青梅市）



まちを流れる大丸用水（稲城市）



早春の農業用水路（日の出町）

- 誌面の概要 -

- ・新年度のご挨拶
- ・令和6年度農業基盤整備関係予算の概要
- ・第45回・第46回全国土地改良大会の開催
- ・「未来へつなごう！ふるさとの水土里」子ども絵画展2023
- ・「農業農村整備の集い」の開催 など



新年度のご挨拶



東京都土地改良事業団体連合会
会長 山下 奉也

新年度のはじめにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、輝かしい新年度をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より水土里ネット東京の業務運営並びに農業基盤整備事業の推進に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

冒頭、このたびの能登半島地震につきましては、北陸地方に想像を超える甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。私たちの仲間でもある土地改良区や土地改良施設につきましても甚大な被害がありました。一日も早い復旧・復興を願うばかりでございます。

さて、東京の農業は今、農業者の高齢化や担い手の不足、農地の減少に加え、気候変動に伴う災害リスク、世界情勢の影響による資材や燃料価格の高騰など、様々な課題に直面しております。

農業の生産基盤に関しましては、老朽化した農道や農業用水施設の更新・長寿命化のほか、その維持管理や災害の防止・復旧を効率的に進めるためのデジタル化などが課題となっております。

農政に目を向ければ、今国会では食料・農業・農村基本法改正案が審議されております。その基本理念として、「国民一人一人の食料安全保障の確立」や「環境等に配慮した持続可能な農業への転換」に加え、「農業インフラの機能確保」などが謳われております。

また、農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、現在、関係市町村では「地域計画」の作成に取り組まれていることと思っておりますが、この地域計画の中でも農業基盤の整備が重要な要素となるのではないかと考えております。

こうした諸課題に的確に対応していくために、本会の果たすべき役割は大変大きいと考えております。

今後とも、東京都をはじめ会員の市町村・土地改良区の皆様と連携しながら、農業基盤整備の専門機関として、会員や農業者の皆様に、技術支援などの質の高いサービスをご提供することで、各地域の農業振興に貢献してまいりたいと考えております。

本年度も東京農業の発展に向け、役職員一丸となって業務を推進してまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年度にあたってのご挨拶とさせていただきます。

新年度のご挨拶



東京都産業労働局農林水産部
農業基盤整備担当課長 河野 章

桜花の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より東京都の農業振興施策の推進にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

まずは、新年早々に発生いたしました石川県能登半島地震により、お亡くなりになられた方への哀悼の意と被災された方々へお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

農林水産部の本庁組織では、昨年 12 月より、柔軟で自由に働ける「未来型オフィス」としての業務を開始しました。基本的にフリーアドレスとしており、職員個人に業務用スマートフォンを導入しております。これにより、職員間の連絡がスムーズになっただけでなく、出張時や在宅勤務時においても、都民や区市町村等からの問い合わせに迅速に対応できるようになりました。

さて、東京都における令和 6 年度の農業基盤整備関係予算は、約 20.4 億円（対前年比 89.2%）となっております。新規事業としては、「地理情報システムを活用した島しょ農業基盤 DX 推進事業」を計上いたしました。農業基盤施設の管理に地理情報システムを導入することにより、更新時期を迎えた施設の適切な管理と災害発生時などの緊急時に適正かつ迅速に対応するための体制を整備してまいります。

また、継続事業である「小規模土地改良事業」については、事業採択にあたっての面積要件を撤廃したほか、補助率を引き上げるなどの拡充を図り、地域の要望により柔軟に対応できるようにしております。

さらに、農地の創出や再生、多面的機能の発揮に向けた区市町村の取組を支援する「未来に残す東京の農地プロジェクト」も、引き続き都内全域を対象に実施するほか、農業基盤施設の長寿命対策なども着実に推進してまいります。

土地改良区の関係では、国が定める第 5 次男女共同参画基本計画（令和 2 年 12 月閣議決定）や土地改良長期計画（令和 3 年 3 月同）において、2025 年度までに、土地改良区の理事に占める女性の割合を 10%以上とする成果目標が設定されております。各土地改良区におかれましては、複式簿記化への対応にご協力いただいているところでございますが、女性の活躍推進に向けた取組につきましても併せてご理解・ご協力をお願いいたします。

引き続き、区市町村、土地改良区等が実施する各事業等の円滑な推進を図るため、土地改良事業団体連合会とも連携を図ってまいります。農業基盤整備に関する要望やご意見等がございましたら、何なりとご相談いただければ幸いです。

私も、できるだけ現場に足を運びたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

令和6年度農業基盤整備関係予算の概要（東京都）

令和6年度の農業基盤整備関係予算は、災害復旧事業や小規模土地改良事業の増額をはじめ、地理情報システムを活用した島しょ農業基盤DX推進事業を新規に追加した一方で、基盤整備促進事業、未来に残す東京の農地プロジェクトの減額により、約20.4億円（対前年比89.2%）が計上されています。

1 地理情報システムを活用した島しょ農業基盤DX推進事業（新規）：28,906千円

農業基盤整備施設の日常における適正な維持管理や労力軽減、施設更新時期を迎えた施設の適切な管理、災害発生時などの緊急時における適正かつ迅速に対応するため、地理情報システムの導入により、農業基盤施設の高度管理を推進し、維持管理体制の強化を図ります。

地理情報システムを活用した島しょ農業基盤DX推進事業

地理情報システム（GIS※）を導入することにより、農業基盤施設の高度管理を推進。更新時期を迎えた施設の適切な管理と災害発生時などの緊急時における適正かつ迅速な対応を可能とする。

※ Geographic Information System
位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術

<事業内容>

農業基盤施設に関する位置情報のGISデータ化

対象施設

- ① 農業水利施設(パイプライン・バルブ・貯水槽など)
- ② 農道
- ③ 農地
- ④ モノレール

補助対象者

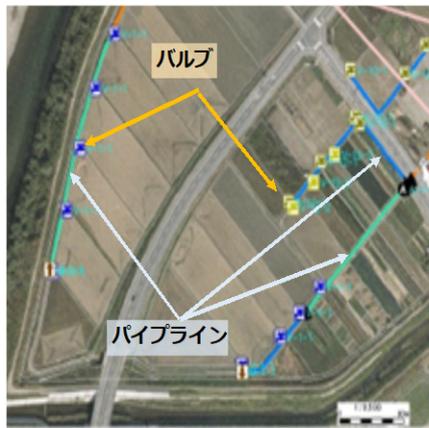
伊豆諸島の各町村

補助率

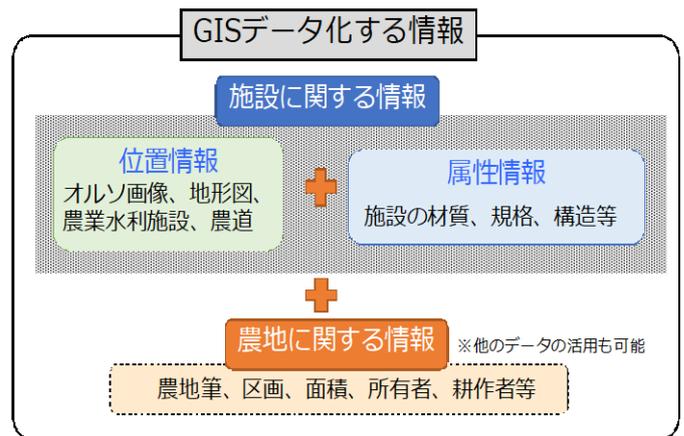
4/5

事業期間

令和6年度
～
令和10年度



航空写真（オルソ画像）に農業水利施設に関する位置データを視覚的にひも付ける（重ねる）ことで、複数の異なる情報を一元表示



<事業の効果>

- 地図情報に施設情報を視覚的にひも付けることで、農業基盤施設の一元管理が可能
- 施設の位置や構造、補修履歴などの情報をGISデータ化することにより、効率的で計画的な維持管理・更新が可能
- 災害時における被災規模や被害想定額の迅速な把握、災害査定時に必要な図面や設計書の作成等を簡素化

2 小規模土地改良（拡充）：206,986千円

国庫補助の対象となることが出来ない、小規模な地域で実施する農業基盤整備事業を補助し、地域の実情に即したきめ細かい整備を進め、営農体系の合理化を図るとともに農業生産性の向上を図ります。

<p>○実施主体 区市町村、土地改良区、農協</p> <p>○対象地域 都内全域</p> <p>○採択要件 ・事業費：2,000千円以上、受益戸数：2戸以上 (受益面積(おおむね2.0ha)の要件を撤廃【拡充】)</p> <p>○事業内容 ①農業用排水施設整備 ②区画整理 ③農道整備 ④調査設計 ⑤災害復旧事業査定設計書の作成【拡充】</p> <p>○補助率 上記①から③は1/2以内(農業振興地域、特定農山村地域、離島は3/4以内)【拡充】 ④調査設計は2/5以内(上記地域は1/2以内)【拡充】 ⑤災害復旧事業査定設計書の作成は3/4以内【拡充】</p>
--

◆土地改良事業の国庫と都単の違い	
<p>国庫補助事業(R5) 事業名：基盤整備促進事業等</p> <p>○対象地域・採択要件 ・農業振興地域 ・受益面積：5.0ha以上 ・事業費：2,000千円以上 ・受益戸数：2戸以上</p> <p>○事業内容 区画整理、農道整備等</p> <p>○補助率 ・農業振興地域かつ離島：国十都3/4 など</p>	<p>都単補助事業</p> <p>○対象地域・採択要件 ・都内全域 ・受益面積：なし ・事業費：2,000千円以上 ・受益戸数：2戸以上</p> <p>○事業内容 区画整理、農道整備、災害復旧事業査定設計等</p> <p>○補助率 ・都内全域：1/2(農業振興地域等：3/4) ・調査設計：2/5(同：1/2) ・災害復旧事業査定設計：3/4</p>

農道整備(八丈町 中之郷安川地区)



3 基盤整備促進：77,012千円～農山漁村地域整備交付金

農道及びかんがい施設等の農業基盤の整備を行い、地域の実状に応じた農用地の高度利用による農業生産性の向上を図ります。

4 農地防災：260,419千円～ため池整備、用排水施設整備、農業用河川工作物応急対策

農地及び農業用施設における災害の発生を未然に防止するための工事を行います。

5 未来に残す東京の農地プロジェクト：534,200千円

農的利用に向けて区市町村が公有地を農業公園等に整備する取組や、農家が所有するアパート等を農地に転換する取組、農地の多面的機能を発揮させる取組等に対し支援します。

6 水土里保全活動支援事業：3,243千円

地域の共同活動への支援を行うことにより地域資源の適切な保管理を図り、農業・農地の持つ多面的機能を適切に維持・発揮させます。

令和6年度農業基盤整備関係予算(農業振興課) (歳出ベース)

予算事項名	令和6年度	令和5年度	比率	
	予算額(千円)	予算額(千円)	R5比	
基盤整備促進事業(公)	77,012	135,669	↓	56.8%
地域農業水利施設ストックマネジメント(公)	118,632	131,900	↓	89.9%
小規模土地改良(単)	206,986	157,683	↑	131.3%
農村総合整備(公)	36,034	30,105	↑	119.7%
土地改良指導等(公・単)	701	801	↓	87.5%
畑地灌漑施設等実態調査(単)	3,092	2,536	↑	121.9%
魚の遡上を阻害する土砂撤去等(単)	20,960	20,960	→	100.0%
農地防災(公)	260,419	206,935	↑	125.8%
農地及び農業用施設災害復旧(公)	10,855	1,000	↑	1085.5%
小笠原農業基盤整備(公)	27,225	150,000	↓	18.2%
小笠原農業基盤施設等維持補修(単)	269,482	250,138	↑	107.7%
未来に残す東京の農地プロジェクト(単)	534,200	662,885	↓	80.6%
水土里保全活動支援(公)	3,243	2,950	↑	109.9%
DXによる農業基盤の防災力強化(単)	443,747	535,942	↓	82.8%
地理情報システムを活用した島しょ農業基盤DX推進事業(単)	28,906	0	↑	皆増
合計	2,041,494	2,289,504		89.2%

第67回（令和5年度）通常総会の開催

東京都土地改良事業団体連合会第67回通常総会が、2月20日(火)に立川市の東京都農業振興事務所会議室で開催され、令和4年度事業報告及び収支決算、令和5年度上半期中間報告及び補正予算、令和6年度事業計画及び収支予算、役員の変更など12議案について審議し、全会一致で可決承認されました。

開会にあたり、山下会長は、「このたびの能登半島地震は北陸地方に想像を超える被害をもたらし、土地改良区や土地改良施設にも甚大な被害がありました。心からお見舞い申し上げますとともに早期の復旧・復興を願っております。」と述べました。

また、「東京農業を取り巻く諸課題に的確に対応していくために、本会の果たす役割は大きく、農業基盤整備の専門機関として、会員の土地改良区や市町村の皆様に、技術支援などの質の高いサービスを提供することで、各地域の農業振興に貢献してまいります。」と挨拶しました。



ご来賓の農林水産省関東農政局農村振興部 平山地方参事官様、東京都産業労働局農林水産部 河野農業基盤整備担当課長様からは、お祝いと激励のご挨拶を賜りました。

令和6年度事業計画については、「老朽化した農道や農業用水施設の更新・長寿命化、こうした施設の維持管理や災害の防止・復旧を迅速・効率的に進めるためのデジタル化などの諸課題に対応するため、先進的技術を活用しつつ着実に農業生産基盤の整備を進めるほか、広報活動の充実などにより会員や都民サービスの向上に努める。」こととしました。

令和6年度から4年間、当会の運営を担う役員は以下のとおり選任されました。

任期：令和6年4月1日～10年3月31日

役職	氏名	所属団体・役職
会長	山下 奉也	八丈町長
副会長	中嶋 博幸	あきる野市長
常務理事	内田 敏夫	学識経験者
理事	田村みさ子	日の出町長
理事	佐々木 宏	青ヶ島村長
理事	川崎 美壽	大丸用水土地改良区理事長
代表監事	福島 久夫	日野用水土地改良区理事長
監事	北島 薫	府中用水土地改良区理事長

令和5年度事業実績の事例紹介

当連合会では、令和5年度に東京都や会員土地改良区・市町村から調査・測量設計等の業務を35件受託しました。今回は、このうち4件をご紹介します。

◎ 農業水路等長寿命化・防災減災事業 昭島用水路改修工事測量設計 実施主体：昭島用水土地改良区

昭島用水路は、主に昭島市内の農地に水を供給する約18kmの農業用水路ですが、老朽化により通水障害や施設の一部崩壊などが見られます。こうした状況に対処し、農業用水の安定供給、水路の維持保全及び管理コストの低減を図るため、改修工事の測量設計を行いました。



用水の取水堰



老朽化した水路

◎ 農地防災事業 銚子の口ため池地区改修工事実施設計 実施主体：八丈町

銚子の口ため池は、大正7年頃に築造され、中之郷地区の約13haの畑に水を供給しています。しかし、老朽化が著しく、浸食による堤体の弱体化やのり面の安定性が危惧されることから、豪雨災害等の未然防止や農業用水機能保全の観点から、改修の実施設計を行いました。



ため池の水深調査



周辺のボーリング調査

◎ 今寺藤橋地区小規模土地改良事業調査・調整業務 実施主体：青梅市

今寺藤橋地区の天皇塚水田は、近年、主要水源である大門川の流量が激減し、農業用水の確保に苦慮しています。このため、水田の一部を畑に転換することを目的として、工法の調査とともに農業者と農地利用の調整や営農計画の検討を行い、本地区の整備方針を作成しました。



大門川取水ゲート



水稻の収穫風景

◎ DXによる島しょ農業基盤の防災力強化事業業務 実施主体：大島町

大島町では、農業用貯水池や地下水源のかんがい施設のほか、広範囲に農道が整備されています。これらの施設の効率的な保全管理と災害発生時における迅速な対応を可能とするため、遠隔監視システムや地図と施設情報を一体化した地理情報システムの構築を支援しました。



貯水池の監視カメラ

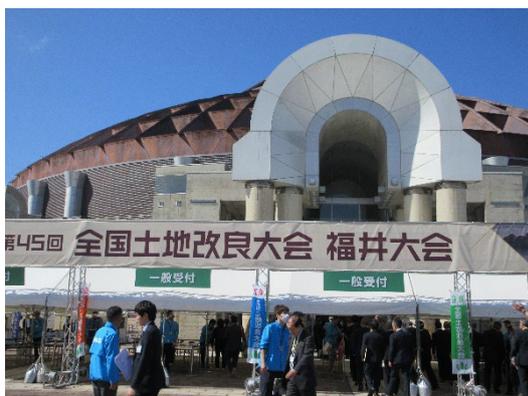


取水門の遠隔開閉装置

第45回（令和5年度）全国土地改良大会 福井大会

10月11日、第45回全国土地改良大会福井大会が、全国の土地改良関係者約4千人が参加し、福井県のサンドーム福井で開催されました。今回のテーマは、「水土里（みどり）がある 幸福（しあわせ）がある 笑顔がある ～ふくいで語る土地改良の未来～」。東京からは、当連合会長をはじめ4名が出席しました。

福井県土地改良事業団体連合会長の開会挨拶、全国土地改良事業団体連合会長の主催者挨拶、福井県知事等の歓迎のことば、来賓祝辞に続き、土地改良事業功績者表彰、基調講演、優良事例紹介が行われ、最後に、福井県立大学生物資源学部創造農学科3年の学生さんが、「未来の土地改良について語り、夢のある農業と賑わいのある農村の創出を目指す」と大会宣言をしました。



会場の様子



二階全土連会長の挨拶を代読する義経副会長

10月12日は、福井県の土地改良施設などを視察しました。

福井県は「コシヒカリ」が生まれた地で、農地の大部分が水田として利用されており、ほ場の大区画化や汎用化、農業用排水路の整備など、土地改良事業が強力に推進されています。

国営かんがい排水事業で整備された九頭竜川下流地区のかんがい施設は、4市町にまたがり、受益面積が11,642haという大規模なものです。幹線用水路は54.8km、パイプラインの最大口径は3.5mもあり、広域の水田地域に農業用水を安定的に供給しています。



かんがい施設の説明を受ける



パイプライン

パイプライン埋設に使用した
シールドマシン



第46回（令和6年度）全国土地改良大会 千葉大会

～千葉大会に皆様のご参加をお待ちしております～



ふさの国から
飛び立て
水土里の恵み

力強く
未来に繋ごう
水土里の礎

第46回全国土地改良大会 **千葉大会**

幕張メッセ 2024 10.22 火
幕張イベントホール

 全国土地改良事業団体連合会
千葉県土地改良事業団体連合会

文化が集まる、未来が集まる。
 幕張メッセ
Makuhari Messe

後援：農林水産省、千葉県、千葉市

「未来へつなごう！ふるさとの水土里」子ども絵画展2023

- ▲日時・場所：令和5年12月5日～11日 上野 東京都美術館
- ▲主催：全国土地改良事業団体連合会 都道府県土地改良事業団体連合会
- ▲企画の主な目的：子ども達に日本の農業や農村の魅力に関心をもってもらい、水の循環や環境保全への理解を促すことを目的としています。
- ▲応募の結果：全国から3,000点の応募がありました。
 審査の結果、農林水産大臣賞等特別賞6点、協賛企業・団体賞25点、地域団体賞52点、
 入選142点、佳作175点が選ばれました。
 東京では水土里ネット東京会長賞1点、入選2点、佳作5点が選定されました。

【水土里ネット東京会長賞】



「国立の田んぼとはざかけ」
 国立市立国立第四小学校 5年
 石田 楷 さん

【入選】



「おばあちゃんのたんぼでいねかりしたよ！」
 文京区千駄木幼稚園（未就学）
 北之内 美良 さん

【入選】



「トウモロコシ畑の夕焼け」
 国立市立国立第四小学校 5年
 藤澤 一心 さん

【佳作】



「国立市 秋の収穫」
国立市立国立第四小学校 5年
根岸 芽生 さん

【佳作】



「えがおな水土里」
国立市立国立第四小学校 5年
久岡 涼子 さん

【佳作】



「おいしく実れ！ぼくたちのハッピー六米」
小平市立小平第六小学校 5年
齋藤 陽仁 さん

【佳作】



「千葉で見た田んぼ」
小平市立小平第六小学校 5年
秋山 結菜 さん

【佳作】



「輝く稲穂」
小平市立小平第六小学校 5年
杉安 美咲 さん



東京都美術館

「農業農村整備の集い」の開催

令和5年11月7日（火）に砂防会館別館「シェーンバッハサポー」（千代田区永田町）において、全国土地改良事業団体連合会主催による「農業農村整備の集い～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて」が、1,100名の土地改良関係者が全国から集い開催されました。

主催者の二階俊博全土連会長は、「農家の皆様方の期待に応えられる予算の確保に一致団結して取り組む。また、男女共同参画の取組みを本格化させ、目標達成に集中的に取り組もう。」と挨拶しました。

次に、以下の農業農村整備に関する要請書が全会一致で採択しました。

要請書（要約）

- 1 土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保
- 2 食料・農業・農村基本法の見直しに当たっては、農業生産基盤の整備・保全管理の重要性などに留意して、必要な規定を盛り込むとともに、関連する制度や事業・支援の一層の充実
- 3 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止、災害対応の事務手続きの効率化等を推進
- 4 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業導入を促す農地整備を推進
- 5 老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や豪雨・地震対策、燃料価格や電力料金の高騰下における安定的な用水供給等の対策を推進
- 6 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を推進
- 7 中小規模の土地改良区の合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進
- 8 流域治水の推進に当たり、農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組む農業者に過度な負担や責任が生じないよう配慮
- 9 水田の畑地化を進めるに当たり、現場の実情を踏まえ必要な措置
- 10 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮



二階全土連会長の挨拶



宮下農林水産大臣の祝辞

水土里保全活動支援事業のご案内

東京の農業は、都市化による農地の減少や農業者の高齢化、担い手の不足などにより、これまで地域の共同作業によって支えられてきた農地や農道、農業用水路やため池などの適切な保全管理に支障が生じ、農業・農地の持つ多面的機能の発揮が懸念されています。このため、東京都では、国の「多面的機能支払い交付金」の制度を活用し、農家や地域住民が共同で行うこうした施設の保全管理活動に対し資金援助を行う「水土里保全活動支援事業」を実施しています。ぜひご活用ください。

▶ 地域資源の基礎的保全を図る共同活動を支援します！

1 地域活動支援(農地維持)



農地法面の草刈



水路の泥上げ



農道の路面維持



遊休農地発生防止

▶ 地域資源の質的向上を図る共同活動を支援します！

2 資源向上活動支援(共同活動)



ひび割れ補修



植栽活動



学校教育との連携



生きもの調査

▶ 施設の長寿命化のための共同活動を支援します！

3 資源向上活動支援(長寿命化)



水路の補修



安全施設の整備



水路の更新



土砂道の補修

▶ 東京都では、独自の支援を受けることができます！

4 地域活動支援(水路維持)

上記の①～③の支援活動費の他に、管理する水路10mあたり3,000円を加算して支援します。

《活動に対する補助単価》

区分	① 地域活動支援 (農地維持)	② 資源向上活動支援 (共同活動)	③ 資源向上活動支援 (長寿命化)	④ 都単地域活動支援 (水路維持)
田	3,000円 / 10a	2,400円 / 10a	4,400円 / 10a	3,000円 / 10m
畑	2,000円 / 10a	1,440円 / 10a	2,000円 / 10a	3,000円 / 10m

土地改良区に女性理事を

いざ、スタート。
2025年度に向けて—



今、はじめる。まずはあなたから—

この町のみんなが
参加できる土地改良へ

女性理事登用

2025年度までに
女性理事が占める割合を **10%** 以上に！

現在
0.6%

農業・農村の振興を支えてきた土地改良を、次世代につなげることが我々の役目です。現代社会を生き抜くために、土地改良を担う組織にはいろいろな人材の参画が必要です。土地改良の新たな発展へ、共に進んでいきましょう。

成果目標

全国の土地改良区（土地改良区連合を含む）において、2025年度までに女性理事が登用されていない組織数をゼロに。理事に占める女性の割合を10%以上に。

引用：第5次男女共同参画基本計画（2020.12）、土地改良区長会計画（2021.3）

組合員だけでなく、員外理事でもOK

組合員からの登用が難しい場合、員外理事制度も活用できます（定款に定めれば理事定数の5分の2まで可能）。組合員のご家族、会計士、6次産業や町内会に携わっている方、他にも農業団体が役員を務めている方などの参画が期待できるのではないのでしょうか。



女性職員登用

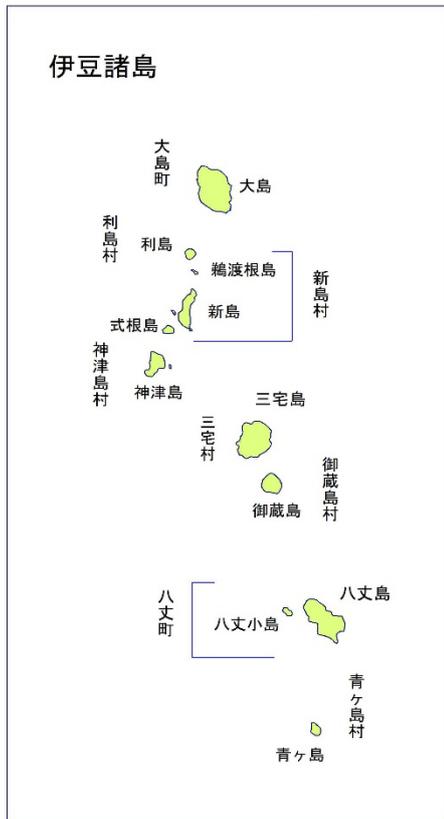
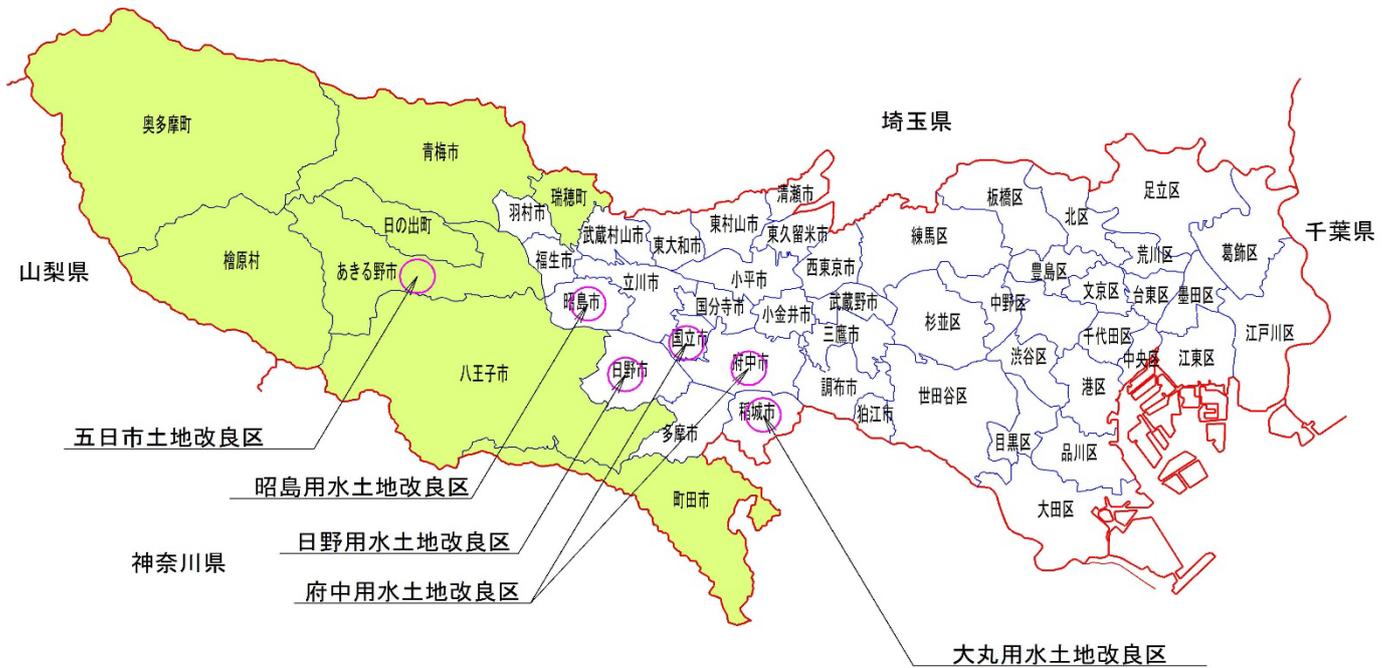
働く場を、再点検

これを機に、土地改良事業団体連合会も含め、改めて働く環境を見つめませんか？無意識の思い込み（お茶入れや電話取り次ぎは女性、外業は男性など）はありませんか？育児・介護制度の整備、技術や資格取得のフォローなど、できることから改善を。誰もが活躍できる、そして人と地域に優しい土地改良へ。



全国水土里ネット・都道府県水土里ネット

水土里ネット東京 会員地図



- | | | |
|-------|-------|---|
| 土地改良区 | 5 会員 | 五日市土地改良区／あきる野市内
昭島用水土地改良区／昭島市内
日野用水土地改良区／日野市内
府中用水土地改良区／国立市・府中市内
大丸用水土地改良区／稲城市・神奈川県川崎市内 |
| 市 町 村 | 16 会員 | 青梅市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村
町田市、八王子市、大島町、利島村、新島村、神津島村
三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村 |



みどり
水土里ネット

地域で守ろう豊かな自然

<http://www.midorinet-tokyo.or.jp>

発行元

東京都土地改良事業団体連合会
東京都立川市錦町3丁目12番地11号

TEL : 042-548-0371 FAX : 042-548-0375
URL : <http://www.midorinet-tokyo.or.jp>